

昨日から学び 今日を生き 明日へ期待しよう!



木の『カタチ』をお手伝い
健康を考えるならやっぱり木の家!木のぬくもり・こだわりを感じてください。
自然素材が大好きな 有限会社 大和屋ホーム 自然素材の『木めぐみの家』
すべてはお客様のために

おかめ新聞

No.178
令和3年
11月号



今日のいい言葉!

過去でも、未来でもなく、
今日一日を満足して終えた
とき、明日へ期待する気持ち
が与えられ、未来へとつ
ながっていきます。

おかめ新聞は、
大和屋ホームの家づくりへの
想いや様々な出来事などを、
毎月皆様にお伝えする
ニュースレターです。

未来が変わる。日本が変わる。



大和屋ホームは、「自然を大切に・地球を大切に」
の思いから、チャレンジ25に参加しております。

みなさんこんにちは!佐藤です。11月になりました。秋の終わりの晩秋の頃でもあり、各地で紅葉が見ごろになります。また11月は別名 霜月(しもつき)と呼ばれ、文字通り寒差を感じる時期です。月の後半になるにつれて寒さは増し、コートやマフラー姿の人たちを見かけるようになります。季節の変わり目は、体調を崩すことが多くありますので、体調管理には充分にお気を付け下さいね。

さて、今年のボジョレーヌーボーの解禁日は11月18日ですね。毎年11月の第3木曜日の午前0時に解禁とのこと。先月のハロウィンと同じように、ここ数年は、海外のイベント

が日本でも大きく取り上げられている気がします。一昔前はクリスマスとバレンタインデーだけだったような気がするのですが、近代化と国際化(グローバル化)が進んでいるのでしょう。しかし、日本古来の五穀豊穡を祈る秋祭りなど四季折々の行事も忘れず行ってほしいものです。

私たちの建築業界でも、グローバル化の波は、確実に進んでおります。家を1棟建てるのに海外の技術や製品は必要不可欠です。全て国産の材料や技術だけでは不可能です。高温多湿で四季のある日本の家づくりは、湿度を調整することが大切です。昔は木と土と紙でつくられていました。現在もこの

家づくりは可能ですが、これだとかかなりの高額な建物になってしまいます。また、地震も多い国なので、耐震の基準の関係もあり、また、生活の近代化の影響もあります。そこで、海外の技術を活用し、現在の家づくりになりました。1970年代から普及しはじめ、それから約50年以上、日本の家づくりは、伝統と最新の技術の融合を繰り返しております。家づくりは、過去から学び、今日を生きているのです。そして、新たな暮らしをつくるのです。その根本にはお施主様の幸せがあります。その幸せの為に常日頃から創意工夫して家づくりを行っています。それでは!

佐藤美智雄